

平成30年5月15日(火)
国土交通省 関東地方整備局
大宮国道事務所

記者発表資料

荒川（東京都と埼玉県の都県境）を跨ぐ2橋の橋梁補修工事において
「見積活用方式」「難工事指定」を試行します。

（H30・31戸田橋橋梁補修工事）（H30・31笹目橋（上り）橋梁補修工事）

工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について不調不落対策を試行しております。

今回発注する「H30・31戸田橋橋梁補修工事」ならびに「H30・31笹目橋（上り）橋梁補修工事」については、標準的な積算と当該現場の見積り（実勢価格）に乖離が生じていると考えられることから、「見積活用方式」の試行を行います。また、「難工事指定」し、インセンティブを付与する試行も行います。

①見積活用方式

本工事は、東京都と埼玉県との都県境にある荒川及び新河岸川を渡河する国道17号現道の『戸田橋』ならびに国道17号新大宮バイパスの『笹目橋（上り）』において、橋梁補修を行うものです。各工事ともに、施工区間が河川で分断されている工事のため、作業効率が低下することが懸念されます。このため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を採用します。

見積をを求める工種は、標準的な積算と乖離が予想される工種より選定しています。

②難工事指定

本工事は、工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加点対象とする「難工事指定」を採用します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、さいたま市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所	電 話	048 - 669 - 1200 (代)
副所長（技）	後閑 浩幸	（内線 205）
管理第二課長	一戸 佳充	（内線 441）

H30・31 戸田橋橋梁補修工事

《工事概要》

- (1) 工 事 名：H30・31 戸田橋橋梁補修工事
- (2) 工事場所：自) 東京都板橋区舟渡3丁目地先、至) 埼玉県戸田市川岸3丁目地先
- (3) 工 期：契約の翌日から平成31年11月29日まで（予定）
- (4) 入札方式：一般競争入札総合評価落札方式（施工能力評価Ⅱ型）
- (5) 工事種別：維持修繕工事
- (6) 工事内容（概要）

・ ひび割れ補修工	748m	・ 高欄補修工	14箇所
・ 断面修復工	0.53m ³	・ 排水装置補修工	4箇所
・ 当て板補修工	2箇所	・ 橋梁塗装工	4m ²

《見積活用方式について》

○見積の提出を求める工種

- ・ 直接工事費のうち、ひび割れ補修工、断面修復工に係るもの

○見積の提出を求める理由

本工事は、東京都と埼玉県との都県境にある荒川及び新河岸川を渡河する国道17号(現道)の戸田橋の橋梁補修を行うものです。施工にあたっては、施工区間が河川で分断されている工事のため、進入路を別に設けなければならず、作業効率の低下に伴い、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

《難工事指定について》

○難工事指定

本工事は、橋梁桁下での作業となり作業スペースが狭隘であり、また、河川で分断され濁水期内での施工となる厳しい工程管理が必要であるため、「難工事」指定を実施します。「難工事」指定された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

《スケジュール》

- 入札公告、見積依頼書交付：平成30年5月17日（木）
- 競争参加資格確認申請書、見積書 提出期限：平成30年5月31日（木）
- 競争参加資格 確認結果通知、工事歩掛公表：平成30年6月13日（水）
- 入札書・工事費内訳書 提出期限：平成30年6月21日（木）
- 開札日：平成30年6月26日（火）

H30・31 笹目橋（上り）橋梁補修工事

《工事概要》

- (1) 工 事 名：H30・31 笹目橋（上り）橋梁補修工事
- (2) 工事場所：自) 東京都板橋区三園地先、至) 埼玉県戸田市早瀬2丁目地先
- (3) 工 期：契約の翌日から平成31年9月30日まで（予定）
- (4) 入札方式：一般競争入札総合評価落札方式（施工能力評価Ⅱ型）
- (5) 工事種別：維持修繕工事
- (6) 工事内容（概要）

・ひび割れ補修工	536m	・箱桁内水抜き工	7箇所
・断面修復工	0.4m ³	・高欄補修工	1箇所
・沓座補修工	2箇所	・橋梁塗装工	21.5m ²

《見積活用方式について》

○見積の提出を求める工種

- ・直接工事費のうち、ひび割れ補修工、断面修復工に係るもの

○見積の提出を求める理由

本工事は、東京都と埼玉県との都県境にある荒川及び新河岸川を渡河する国道17号新大宮バイパスの笹目橋（上り）の橋梁補修を行うものである。施工にあたっては、施工区間が河川で分断されている工事のため、進入路を別に設けなければならず、作業効率の低下に伴い、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

《難工事指定について》

○難工事指定

本工事は、橋梁桁下での作業となり作業スペースが狭隘であり、また、河川で分断され濁水期内での施工となる厳しい工程管理が必要であるため、「難工事」指定を実施します。「難工事」指定された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

《スケジュール》

- | | |
|-----------------------|----------------|
| ○入札公告、見積依頼書交付 | ：平成30年5月17日（木） |
| ○競争参加資格確認申請書、見積書 提出期限 | ：平成30年5月31日（木） |
| ○競争参加資格 確認結果通知、工事歩掛公表 | ：平成30年6月13日（水） |
| ○入札書・工事費内訳書 提出期限 | ：平成30年6月21日（木） |
| ○開札日 | ：平成30年6月26日（火） |